



元吉原小児童会
えがオン

元小は
今年度創立
150周年！

しょうらい

松籟



富士市立元吉原小学校
学校だより
令和7年2月28日

6年生ありがとう！

元吉原小学校を中心になって引っ張ったり、支えたりしてくれた6年生もうすぐ卒業です。2月26日(水)の3・4時間目に5年生の企画で「えがオン6年生ありがとうの会」が行われました。5年生36名が力を合わせて会の内容や掲示物、プレゼントなど、アイデアを出し合い、心をつなげて準備を進めてきました。1年生から4年生も6年生へのありがとうの気持ちを伝えるために、5年生に協力して掲示物やプレゼントを作ったり飾りつけをしたりしてきました。

当日は校内のオリエンテーリングをふれあいグループで、チェックポイントでのミッションを一つずつ楽しく解決していきました。初めは5年生や4年生がおもてなしをする意味でリーダーを務めていましたが、さすがは6年生。みんなに気を配り、全員で取り組めるようにリードしてくれている姿も見られました。

体育館で6年生が歌ってくれた『栄光の架橋』は、夢と希望をこめた力強い歌声で、下級生たちは「すご〜い!」「もっと聴きたかったなあ」とあちらこちらから声が聞こえてきました。素敵な歌声と6年生の堂々とした姿は、「自分たちもこんな6年生になりたい!」という憧れと目標となり、元吉原小学校をこれから背負っていく下級生たちへの大きな贈り物になりました。6年生のみなさん、これから歩んでいく道には様々な困難も待ち受けているかもしれませんが、でも、必ず支えてくれる仲間がいること、自分には乗り越える力があることを信じて力強く進んでいってください。応援しています。今までありがとうございました。



今年度の学校生活は あと13日

一期一会という言葉には、「一生に一度だけ会うこと。一生にただ一回限りの機会。『明治書院精選国語辞典』より」という意味があります。

今のクラスで今の仲間とこの場所で、今の気持ちで過ごせるのはもう残りわずかです。一生に一度のこの出会いを大切に、残された日々を大切に過ごしていけるよう、学校では丁寧に締めくくりをしていきたいと思ひます。



自分で みんなで 最後まで

令和6年度は創立150周年という大きな節目の1年でした。お祝いの会で地域の皆様と気持ちを一つにして大きな声で歌った校歌は素敵な思い出として心に刻まれました。子どもたちは大きな行事だけでなく、毎日の授業や学校生活の中でも重点目標を意識してきました。自分にできることを精一杯取り組んだり、みんなでよりよいものにしていくために意見を出し合ったりしながら、最後まで頑張っている姿はとて輝いていました。各クラスからは、いつも子どもたちの活気あふれる元気な声が響いています。ロングの休み時間にはグラウンドで友達とルールを決めながら楽しく遊んでいる姿が見られます。時には揉め事も起こります。そのような場合にも、友達と話し合って解決したり、泣いている子にやさしく声を掛けたりする様子も、多く目にしました。みんなが「自分で みんなで 最後まで」を意識して生活することによって、「一人一人が安心して自分らしさを発揮できる学校」を創っていくことができたのだと思ひます。でも、子どもたちが学校で安心して伸び伸びと活動できるのは、何よりもご家庭で日々支えてくださり、学校生活へのご理解とご協力をしてくださっているからです。来年度はより一層、やさしさについて深く考え、予測困難な世の中を仲間と助け合いながらたくましく生きていくことのできる子どもたちを育てていけるよう努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。そして1年間ありがとうございました。